

議会だより

しょうわ

2010.1.22

No. **144**

山梨県昭和町議会ホームページ
<http://www.town.showa.yamanashi.jp/>



ねばり強くのびのびと

昭和保育園（1月7日撮影）

議会だより全国で準優勝！

旧杉浦医院保存の取得費を承認2

12月議会で決まったこと4

7議員が一般質問12

多事争論 区長と議員の座談会16

井戸端会議（住民・議員の対話集会）18

議会に対する町民アンケート22

屋敷を保存する 取得費を承認

12月 定例会



平成21年12月定例会は、12月8日から11日まで4日間の会期で開かれました。この議会には町長提出の平成21年度一般会計および特別会計補正予算3件をはじめ、請負契約の変更・締結2件、条例改正2件、広域の組合規約変更4件の合計11件が提出されました。

このほか請願が1件ありました。議案は各常任委員会で審査の結果、いずれも原案のとおり承認、可決しました。8日の一般質問には7人の議員が立ち、環境保全、福祉政策、入札制度など町政の課題について幅広く質問を展開し、町の考えをたえました。

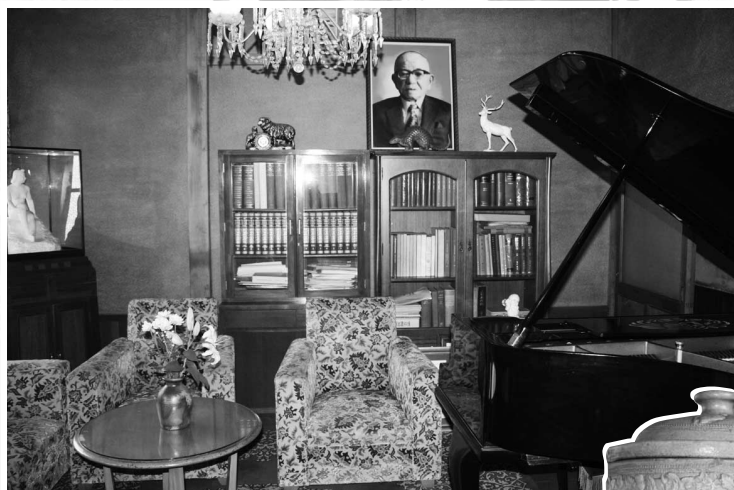
12月定例議会に提出された一般会計第4回補正予算には、西条新田の旧杉浦医院、杉浦邸を保存するための用地取得費が計上され、議会は原案のとおり可決しました。

旧杉浦医院および杉浦邸は昭和町に現存する最も古い建造物であり、明治・大正期の建築様式と屋敷構えを伝えています。町は今年3月までに土地、建物を購入し、収蔵物の寄贈を受け、文化庁に登録文化財の指定を申請し、建物を修理・整備して、

杉浦健造・三郎父子の地方病との闘いや地域医療、地域教育への功績を顕彰し、「昭和町の水の歴史」を象徴する文化遺産として、また昭和町における地域文化発信センターとして活用する計画を立てています。今後、検討委員会を設け、建物の現況をできる限り残しながら公開可能な補強、修理を加え、文化財にふさわしい庭園等も整備するため基本方針を具体化していくこととなります。

旧杉浦医院の ための

杉浦健造氏の銅像



現存する旧杉浦医院の診察室



当時の医療機器



押原公園北側には地方病流行終息の碑が建立されています

決まったこと

一般会計補正予算

賛成14：反対1で可決

1億2,741万円を追加補正

総額75億7,835万円

【歳出の主なもの】

・ 地方病撲滅の歴史に関わった杉浦家の屋敷保存	1億70万円
・ 小規模多機能型居宅介護施設への整備費助成金	2,625万円
・ 新型インフルエンザ1歳児から中学生までの接種費助成	1,153万円
・ 地震などの瞬時警報システムを含む防災無線工事	677万円
・ 子育て応援手当の執行停止	2,580万円
・ 職員等給料、期末勤勉手当カット	926万円

【財源の主なもの】

・ 国庫支出金	1,364万円
・ 県支出金	2,791万円
・ 県道工事負担金	2,000万円
・ 町債（町の借金）	4,100万円
・ 財政調整基金（貯金の取り崩し）	2,490万円



公共施設の入口には
消毒液を設置

特別会計補正予算

全員賛成で可決

介護サービス会計 24万6千円を追加補正

総額 1,164万2千円

下水道事業会計 64万8千円を追加補正

総額 12億4,164万8千円

ヒブワクチンなどへ公費助成

定期接種を求める請願を採択
国へ意見書を提出

子供たちの生命を守るため、ヒブワクチンおよび肺炎球菌ワクチンへの公費助成、定期接種化を求める意見書の提出を求める請願

・ 請願者 望月美孝さん（河西在住）
・ 紹介議員 河田あけみ議員
【意見書の主旨】

・ 予防接種法を改正し、Hib重症感染症（髄膜炎、口頭蓋炎、敗血症）を定期接種対象疾患に位置づけること。
・ ワクチンの安定供給のための手立てを講じること。

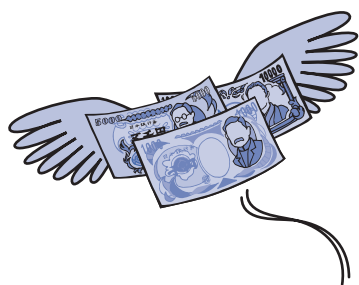
議会はこの請願を審査した結果、全員賛成でこれを採択し、議長名で国に意見書を提出することを議決しました。
【意見書提出先】

内閣総理大臣・厚生労働大臣

ヒブ（Hib）とはどんな菌なのか

WHOによる2000年の推計では、ワクチンで防げる病気で乳幼児が亡くなる原因として、麻疹（はしか）に次いで多いのはヒブです。

細菌性髄膜炎などにかかりやすい乳幼児を守るために、5歳以下の子どもはヒブワクチンおよび肺炎球菌ワクチン接種を3種混合と同時期に4回ほどしますが、任意接種であるため費用負担（約3万円）がかかります。



12月議会で

ボーナスカット

- ★ 町職員の給与・期末勤勉手当0.15カ月カット
給料表の減額改正（賛成14、反対1で可決）
- ★ 町長・教育長の期末勤勉手当0.15カ月カット
- ★ 議員は県議会の下げ幅と同じ
期末勤勉手当0.1カ月カット（全員賛成で可決）

反対者：深澤平助議員

（理由）公務員の給与は、公務に携わるものの生活を保障するものです。一時的に生じる経済の不況を理由に簡単に給与等を減給してはなりません。しかもルール違反の6月に続いての減給です。この案件には反対です。

請負契約の変更

- 押原公園整備工事第1工区
請負契約変更（天然芝グラウンド北側ピクトープ脇）
増額 63万円
変更後 1億1,014万5千円
（税込）
- ▼ 内容 砂ストックヤード設計変更に伴う増工事
- 押原公園整備工事第2工区
請負契約変更（管理棟南側グラウンド）
増額 274万500円
変更後 9,724万500円
（税込）
- ▼ 内容 暗渠排水工の追加および目隠しフェンス
工の仕様変更に伴う増工事
全員賛成で可決

広域事務組合の規約変更

- 三郡衛生組合の規約変更
- 山梨県町村議会議員公務災害補償等組合の規約変更
- 中巨摩地区広域事務組合の規約変更
- 山梨県後期高齢者医療連合の規約変更
- 広域で一部事務組合を組織する地方公共団体数のうち、増穂町・鯉沢町が平成22年3月8日に合併し、富士川町になるための変更
全員賛成で可決

ひとの声

読者の疑問に お答えします

ごみの収集の中で、「その他プラ」とありますが、どのような再生品に生まれ変わっているのでしょうか。教えていただきたいと思っています。

（フオークリフトの）

パレットなどに再生

昭和町で回収された「その他プラスチック」は、長野県の再生工場でプラスチックの種類で選別し、破碎・洗浄・乾燥の工程を経て、パレット（細かい粒状物質）になり、さらに工場用の再生パレットとして加工され利用されています。

昭和町の議会活性化を視察に訪れた他町村議会

11月4日 長野県小海町議会
11月4日 千葉県一宮町議会
11月13日 徳島県町村議長会

昭和町押原公園を視察に訪れた他市議会

11月17日 大分県杵築市議会

12月定例会 委員会質疑

議案をさらに細かく各委員会で
徹底審査を行いました。

総務常任委員会

《文書・資料の電子化》

三井議員 ホームページから資料を検索し、ペーパー文書にしたものは取り出せるのか。企画財政課長 公開できないような文書も多いが、将来的には過去の広報誌などの公開も考える。

三井議員 Jアラートの導入時期はデジタル化が完了してからか。

企画財政課長 平成22年2月より防災無線での速報を予定しているが、デジタルとアナログが混在しているので、地域により時間差がある。

用語解説

Jアラートとは、全国瞬時警報システムのこと、国からの緊急地震速報など、市町村の防災行政無線放送から24時間自動で伝達するシステム

《常永土地区画整理事業による財政見込》

深澤議員 大型店の税収が平成24年からはじまるが、年ごとの額の見込みは。

税務課長 近隣の整備などで評価額は上がるが、家屋の価格は下がり、大体同じ予想。

浅川議長 大型店に駐車場を貸す人の課税はいつからか。

税務課長 13万㎡分は、平成22年度から新しい地目と面積で使用収益を課税する予定。

萩原議員 だんだん家が建ってきている。業者からの完了引き渡しは1月末でも、引越しが12月中の場合、いつから課税になるか。

税務課長 区画整理地の家屋評価をし、1月1日時点で完成しているかで判断。引越して生活していれば課税の対象。

産業土木常任委員会

《緑地帯の管理》

志村議員 町道緑地帯の管理は年何回刈り込みしているか。環境経済課長 せん定はこの時期一回のみ、町内各所の幹線沿いを行っている。

志村議員 当初予算より補正増する理由は。

環境経済課長 釜無工業団地の枝がケープルの関係でせ

んだのみの予定だったが、芯止めの必要性があるため。

《農事組合の減少》

田中議員 農事組合長の減額は、どの組合か。

環境経済課長 清水新居2、飯喰1の3組合。個人個人で対応している。

《粗大ゴミ処理》

河住議員 100万円減だが、なにが減っているか。

環境経済課長 警備・パトロールを常備配置強化している西条一区・二区・河西は、

不法投棄が減ったためと、不況の影響もあるのでは。

《舗装復旧工事》

遠藤議員 下水道の舗装工事は下水を埋め、上の部分だけの工事金額か。

建設課長 下水道は仮復旧で舗装し、一年後に道路幅を本復旧する。今回は建設課で対応。遠藤議員 道路幅で全体か半分か決めているのか。

下水道課長 基本的には垂直に掘るが、影響幅が出る。県との協議や影響幅の広さに応じて対応している。

12月の粗大ゴミ搬出（西条二区）



《耐震化建て替え条例》

田中議員 耐震化建て替え条例のPRは。

都市整備課長 県は9月に要綱が出て広報活動。町は広報・HP・区長会でPRする予定。

《町営団地の入居》

河田議員 常永団地の抽選は公開か。

建設課長 時期は審査時間がどのくらいかで決定。抽選は公開でしたい。

釜無工業団地のせん定箇所



教育厚生常任委員会

《子育て応援手当》

河田議員 国の子育て応援手当が中止になり、市町村独自でも行っているところもある。昭和町も要請を出しているが、町村会の動きはどうか。町長 特に動きはない。

《インフルエンザ対策》

河田議員 保育園のインフルエンザ流行状況は。

福祉課長 昭和・押原保育園で一部休園。正確な数字はないが、どの園も10名程度。



押原保育園の年少組は
全員マスク着用

いきいき健康課長 ワクチンは1〜9歳まで集団接種。町が窓口で各医療機関と連携。10

15歳までは自主的に接種。

無料券は役場に取りに来てもらう。

河田議員 各学校で加湿器を予算計上したが、教室にも入れるのか。

教育長 液体が特殊なので、専用の加湿器を保健室にのみ購入します。

《児童館改修》

萩原議員 常永児童館の工事で、駐車場の改修などはないか。

福祉課長 駐車場は現状のまま。

《学校》

樋口議員 学校が荒れていると新聞に出ていたが本町は。

教育長 ものを壊した等の事件は2件。単発的な事件で、問題視していない。不登校の生徒は小学校1人、中学校11人

4月から30日以上休んでいる生徒。2学期から増加。

深澤議員 不登校の原因と対処は。

教育長 原因の把握を行い、学校カウンセラー・生活指導の先生・担任等と連携し指導

水源対策特別委員会

《甲府市上下水道局との覚書》

福島議員 昭和町への協力金を減額をしてほしいとのことだが、過去の経緯をふまえ、減額するなら緊急時も取水しないという態度をとるべき。

深澤議員 これまでどおり取るべき。町には条例まであるのだから交渉材料に主張すべきだ。

山田議員 荒川ダムがどうなるかで、甲府市も要請してくるだろうから、今まで通りを維持すべき。

田中議員 近隣の関係もあるが、昭和町の立場を話すべき。

浅川議長 自治体同士なので、議会は納得できないという回答で、執行部で決着を付けるしかない。

町長 議会の意見をまとめていただき、甲府市に出したい。町の意見も主張し努力する。

総務課長 信頼関係の中でやっていきたい。去年が契約更新時期、1年間延ばしているの、22年3月末までに決着したい。町長も交え話し合いをする。



甲府市水道局昭和浄水場

地方分権対策特別委員会

《行財政改革》

志村議員 交付金は1年間に一括交付なので、区の運営は楽ではないか。

深澤議員 敬老会の補助金は一括に入っている。今は町が70歳以上を対象にしているが、今後は各区に任せるのか。

総務課長 交付金のカウント上、70歳以上を対象。80歳以上を対象としたい場合、各区の問題として扱ってほしい。

深澤議員 職員担当の趣旨は分かるが、職員には本来の仕事もあり負担が多くなる。担当課や係を設置したほうがよいのでは。

総務課長 職員への心配は分かるが、地域の主体性を重視するため必要だ。職員の負担にならないよう進めたい。

深澤議員 区長会の充実も大切だ。事務連絡の伝達だけでなく、行政相談や区の情報を交換する場になってほしい。

総務課長 主管課は企画財政課だが、区長会は意見交換をする場になってほしい。

《議会基本条例の制定》

志村議員 早く条例を作ったらどうか。

三井議員 委員会として昭和町に合った条例を作るため、全議員での話し合いと十分な協議が必要。平成22年12月までは作成する。

用語解説

ここでいう交付金とは、これまで各種補助金として細かい申請に応じ、町から補助していたいくつかの補助金を年度初めに各地区へ交付金として一括交付すること

ここが聞きたい

本会議の議事録はホームページで
検索できます。
議会事務局でも閲覧できます。

一般質問

Ｑ自然環境保全条例を 作るべきでは

Ａ施策の進行を見て 総合的に判断



たなか ひろよし
田中 博愛 議員

田中 平成19年4月に「昭和町ごみのないきれいな町にする条例」が施行された担当課職員による粗大ごみ収集場所の巡回指導や、警備員によるパトロールの実施で改善された点もあるが、町の美化をさらに進めるため、環境監視員の設置と各区が連携した環境ネットワークの構築が必要だ。
ともすれば、開発によって自然との調和を崩し、生活環境を

悪化させてきたことを反省しなければならぬ。山梨県は昭和46年10月に自然環境保全条例を公布した。この条例をもとに、本町に即した「昭和町自然環境保全条例」への取り組みが必要ではないか。



自然が残る鎌田川

町長

都市化の進展が著しい本町では、生活環境、自然環境の保全は重要な施策だ。環境事業を町とともに担っている環境保健委員会と、地域の各種団体からなる環境保全推進協議会による、環境美化監視活動の活性化を図る。環境監視員の設置は協議事項としたい。

本町は平坦な農村地帯から発展し、現在に至っている。湧水や田園が広がり、四季折々の日本の原風景が現存しており、町民の貴重な共有財産として、守っていかねばならない。「昭和町ごみのないきれいな町にする条例」や「昭和町地下水採取の適正化に関する条例」を、分かりやすい名称で個別に制定し、環境の保全と美化に努めてきた。総合的な環境に関わる条例の制定については、昭和町第5次総合計画・国土利用計画など、環境に関連する施策の進展を見た上で判断する。

施策を問う

一般質問



かわだ
河田あけみ 議員

一般質問は、本会議において議員が町行政全般に対して、将来の方針・計画あるいは疑問点などについて所信をたずねることです。今回は、「一問一答方式」により7人の議員が幅広く質問を展開しました。再質問を含み要約しています。

Q 父子家庭の

支援をすべき

河田

現在の児童扶養手当制度は、母子家庭を対象としており、父子家庭は収入が少なくても支給対象にはならない。祖父母が親代わりとなり養育するケースも増加しており、生活困窮世帯が少なくない。社会状況の変化に対応し、父子家庭等への支援が必要ではないか。

A 各種の助成を実施

町長

父子家庭に対する町単独の福祉施策、ひとり親家庭医療費助成事業、父子世帯食事サービス事業、母子および父子世帯の小中学校入進学祝金支給等を実施している。国の制度である児童扶養手当の充実については、町村会組織を通じて要望している。

Q 協働の町づくりを目指して

お知らせ

議会だよりではお伝えしきれない議会の様子を昭和町公式ホームページでご覧いただけます。ぜひ、検索してください。



URL

<http://www.town.showa.yamanashi.jp/>

**皆さん
議会を傍聴してみませんか？**

次回定例会 3月9日（火）予定

手続きは2階本会議場入口で住所と名前を書くだけです。

河田

現在、昭和町では子育てサポート事業が実施されているが、全町民を対象を広げた登録型のサポーター制度を、協働の町づくり事業として定着させることを提案する。「小さくてもきらりと輝く町」をモットーとしている町長の見解は。

A 町づくりのすそ野を広げる

町長

ご提案の町民登録型サポーターのほか、若者の参画、専門家による課題解決、町の職員による手助け等、協働の町づくりには各種の方策が考えられる。社会福祉協議会の取り組みや、今後の行政区制度改革の進捗状況を見て、最適な仕組みを検討する。

Q 高齢者の牛乳配付サービスの目的は

河住 現在、町が実施している高齢者に対する牛乳配付のサービスは、健康増進と酪農振興の両面で評価できる。サービス実施の目的は、当初の80歳から、85歳以上に変更になった理由は、実際に本人が飲用しているかの調査検証は。

A 高齢者の見守りと健康が目的

町長 高齢者の健康増進と配付時の見守りが目的。行財政改革の一環として、高齢化の進展を考慮し、支給年齢を引き上げた。配付希望を取り扱っている民生委員に、利用実態の確認を依頼したい。



高齢者とのふれあいサロン清水



かわすみ やすしげ
河住 保茂 議員

Q 入札制度の改善を

河住 価格に加え、価格以外の要素も総合的に評価し、落札者をきめる 総合評価方式の導入は。
低価格での落札と品質確保の観点から、専門職員の配置と、低入札価格調査制度への移行に努めるべきでは。

A 低入札価格調査制度の充実を図る

町長 町内企業優先で指名している現状では、価格以外で差がつきにくく、指名競争入札にはなじまないと認識している。今後、公募型指名競争入札、一般競争入札での導入を検討したい。
専門知識を必要とする建築工事等については、設計委託業者に同席を求め、企業に対する聞き取り調査をおこなう。
近隣市町村においても、低入札価格調査制度による価格設定に移行しつつあり、今後もこの制度の充実を図っていく。

総合評価方式とは
工事に対する技術提案や企業の技術力の評価をおこなない、入札価格を合わせて総合的に評価し落札者を決定する方法。評価の一つとして地域の貢献度を考慮することもある。

用語解説

Q 専門性を生かせる

職員の育成

保坂

社会情勢の変化に対応し、効率的な行政サービスを提供することは、行政全般に必要なこと。とりわけ福祉、環境行政には重要となる。短期的な人事異動は、専門性の高い職員育成を阻害しかなない。町長の所見を聞きたい。

A 専門分野の研修会に参加させる

町長

時代の変化、住民ニーズの多様化に向き合えるように、職員には年間を通して、専門分野の研修会に積極的に参加するよう促している。最近の人事異動は短期ではなく、3年間程度のサイクルで職員を配置し、専門性が高まるよう配慮している。



保坂 明子 議員



新しく配備された福祉車両

Q 高齢者の外出

支援策をすべき

保坂

高齢者が各種の行事に参加しやすいよう、送迎サービスの充実が望まれる。9月議会以降の研究、検討の進捗状況は。ボランティアの個人所有車を公用車並みの扱いで、送迎に活用できないか。

A 送迎用福祉車両を増やす

町長

11月から本格的に立ち上げた「ボランティア人材バンク」の登録制度を活用し、運転ボランティアを確保して対応したい。年内には、社会福祉協議会に提供する1両と、共同募金の配分金で購入する1両が増え、福祉車両が3両体制になり、外出支援サービスが充実できる。事故対策、損害賠償等の法的課題があり、個人所有車の公用車扱いは、現時点では考えていない。

Q 住居表示 プレートの設置

志村 昭和町の発展はめざましいが、どの地区も新旧住民が混在し、いろんな面で支障が出ている。特に、住居表示は不統一で、カーブミラーや電柱にはところどころに表示はあるが、個々の地番表示がない。甲府市では40年も前からプレートがつけてあり、約8万5千世帯ある。本町の6,900世帯に住居表示プレ



志村 茂 議員

ートを配布し、安心安全のまちづくりと、人にやさしいまちづくりを推進する考えはないか。

A 電柱などへの 住居表示を検討

町長 本町では特に若い世帯の流入や、企業進出などで都市化が進んでいるが、アパート等の居住人口も増え、未届けでの転出入も多いため、住居地の確認に苦慮している。

甲府市では、「住居表示に関する法律」に基づき、条例・規則を定めて街区符号・住居番号で住居表示を行っている。本町は行政区ごとの地番のため、住居表示も難しく、個人情報保護の問題もあるので、現状の電柱等への地域表示を増やすなど、できるだけ分かりやすくするよう考える。



電柱の地区表示



カーブミラーに設置された地番表示

Q 新型インフルエンザ 対策の情報を

遠藤

小中学校では学級閉鎖や学年閉鎖が行われているが、子どものいない一般家庭では、インフルエンザの情報がないため、判断に苦慮している。町の対応は、

A 患者数はホームページで 学校ごとに掲載

町長

患者数の推移は、県内40力所の定点医療機関から報告された患者数を集計し、5つの保健所ごとに公表されている。町内の医療機関の受診者は地域の町民とは限らず、町内の感染者数として正しい情報といえず、誤解を招く恐れがある。町内小中学校の児童生徒の患者数を、町のホームページに1週間単位で学校ごとに掲載しているので、参考にしていただきたい。



えんどう たつお 議員
遠藤 辰男

Q 都市計画マスター プランを問う

遠藤

常永土地区画整理事業の進捗で、イオンモールは平成23年の営業開始予定と聞く。賑やかな町になるが混雑も想定され、多数の車の入り込みで、住民の安全を考えると大変心配だ。都市計画決定されている道路を早急に見直し、一日も早い周辺の道路整備が必要だ。町長の考えを聞きたい。

A 道路網の構築は 計画的に推進

町長

県・甲府市の区域マスタープラン見直し後の、平成22年度中に見直しを予定している。未施行の西条昭和インター線、昭和玉穂中央通り線、中小河原築地新居線など、大型事業完了の見通しや財政面も考慮し、事業着手していきたい。大型店舗進出で、交通量の増加も懸念されるので、町内道路網の構築は、計画的に整備推進を図る。



西条昭和インター線

Q 民間の賃貸住宅の空室対策は

塩澤 政府は日本経済がデフレの状態と宣言したが、本町も税収が落ち込み、行政運営が大変厳しくなっている。町内の賃貸住宅は、多くの物件で空き室が目立っているが、企業の撤退による影響が大きいと聞く。1企業への支援は難しいが、全体を考え対策を検討すべきでは。



しおざわ ひろし
塩澤 浩 議員

A 空き家対策に助成制度は厳しい

町長 日本経済に明るい兆しが見えず、厳しい状況が続いているが、現在の町の財政状況で、空き家対策に新たな助成制度を整えることは非常に厳しい。子育て支援・学校教育等の充実を図り、町外から本町へ住みたくなる方々が増えるまちづくりに向け、一層努力する。



Q 家賃補助事業を問う

塩澤 町営住宅は新築で家賃補助も受けられ、入居希望も多いが、入居できない世帯の家賃補助の検討や、若者の定

住策として、結婚時における民間賃貸住宅入居者に、補助をする考えはないか。

A 子育て支援の充実を優先

町長 全国的に公営住宅の応募倍率が高く、本町でも公営住宅戸数に限りがあり、全ての入居は困難だ。完成する常永団地の応募者数も判断材料として、今後の住宅困窮世帯に対する支援のあり方を検討したい。

若い世代の支援策としては、医療費無料化の拡大や給食費の軽減など、子育て支援の充実を図るまちづくりも進めており、定住化対策としての家賃補助制度は、時期尚早と考える。

委員会研修

(ホームページで詳しく掲載)

昭和水源の歴史を学ぶ

総務常任委員会

総務常任委員会では、元町長の泉幸弘氏を講師に招き、昭和水源の歴史を学びました。昭和村当時の様子をビデオで振り返り、全議員と角野町長をはじめ職員も参加して開催されました。町内には現在甲府市水道局の取水井戸20本と補償井戸が19本あり、甲府市



議員と多くの職員が聴講

民の水源として、荒川とともに昭和町の地下水を取ることになった経過を学びました。

農産物直売所 ごみ処理施設 を視察

産業土木常任委員会

産業土木常任委員会は、地域の特産品・野菜等を販売するJ A埼玉中央の農産物直売所を視察、J A中巨摩東部の農産物直売所のありかたにも役立つ研修でした。



ゴミ処理施設視察



また、埼玉県が整備を進めてきた民間では国内最大級のごみ処理施設で、廃棄物を完全リサイクル、焼却灰など一切発生しない100%再資源化する資源循環工場の視察もあわせて行い、他県の施設は進んでいることを実感した研修でした。

高齢者福祉のあり方を研修

教育厚生常任委員会

東京都日の出町と狛江市の狛江共生の家「多麻」で研修を行いました。

日の出町は、後期高齢者医療費の無料化や高齢者に対する条例の制定など、全国でも先陣を切った取り組みを大胆にしています。昭和町の福祉の在り方や将来像を重ね合わせ、昭和町政にフィードバックできるような多くの質問が出ました。狛江共生の家「多麻」は、一人暮らし高齢者のための共同住宅で、運営の仕方や地域との関わり方、生活の手段としての共同生活や、高齢社会に向けての取り組みを研修してきました。



日の出町視察

全国コンパクト タウン・サミット 参加

平成の大合併も一段落し、この10年で全国の町村数は2、562町村から977町村となりました。

昭和町は自立の道を選択しましたが、21世紀の町づくりとして、コンパクトシティという都市計画の理念が広がりを見せています。

面積が小さい町の議員同士が集まり、魅力あふれる町づくりについて意見を交わす議会サミットが香川県宇多津町で行われ、全国に38ある面積10平方キロメートル未満の町から約30人が参加して開催され、昭和町からは、浅川議長と萩原副議長が参加しました。共同の取り組みや、調査研究・政策提言について話し合い、面積が小さい町の「まちづくり」を考えるよい機会となりました。

昭和町の面積

(9・15平方キロメートル)

区長と議員の座談会

第3回

11月13日開催

多事争論

開かれた議会を目指し、住民の皆様のご意見を議会活動に反映させるため、住民の先頭になって活躍されている区長さんと意見交換会を開催しました。(要旨のみ掲載)

(敬称略)

参加者

西条一区	中澤 幸紀(会長)
西条二区	篠原 政憲
清水新居	深澤 昇
西条新田	福島 正明
押越	畑野 泰六
河東中島	雨宮 昌男
紙漉阿原	武井 啓吉(副会長)
築地新居	河田あけみ(副会長)
飯喰	樋口 政雄
河西	堀之内法政
上河東	二宮 一英
上河東二区	石川 重明

以上12区長 ほか町議会議員



各区の区長

補助の継続を望む

上河東区長 自主防災資機材の補助金交付要綱が、平成21年度で終了するが、自主防災充実のため、引き続きお願いしたい。

要綱解説

平成17年4月から平成22年3月までの期間。
各自主防災会均等割20万円+加入世帯×100円の補助
(例=上河東22万8,800円)

行財政改革は

上河東区長 行財政改革推進会議を、議会はどうか考えているか。

浅川議長 本町は、小さくても豊かな町づくりに向け、町長の施策の一つとして、各区で制度改革に主体性を持った取り組みがなされるようにと思っています。

行政と議会の関係も、新しい町の施策が進むなか、第3次行財政改革や実施計画を新

たな委員で審議しているが、区長にも戸惑いがあり、審議会で検討している。

市街化調整区域の下水道整備を望む

河東中島区長 市街化調整区域の下水道整備について考えを聞きたい。

野中議員(産業土木委員長)

山梨日日新聞に釜無流域下水道整備を25年延長し、2035(平成45)年まで延長するという記事が出ていました。昭和町では、今までの計画で2020(平成32)年を終了目標年度とし、認可を受け市街化区域を行っていきます。現在、築地新居地区の釜無工業団地周辺と常永土地区画整理事業地内を2014(平成26)年を完成目標に、下水道管布設工事を進めています。釜無工業団地内も経済状況の悪化から、企業の状態が悪く、手がつきませんので、2020(平成32)年以降になるのではないのでしょうか。下水道計画の認可が得られるかが、今後の問題です。

民主党政権に代わり、地方に財源を移したなかで、地方が行えるか、押越・河東中島・

築地新居の市街化調整区域の整備がどうなっていくかは、町でもまだわからない状況です。

押越区長 下水道の接続、水洗化率はどのくらいか。下水道に接続しない人は、罰則を強化して接続してもらわないと。区長会へ率を教えてください。

下水道課 昭和町の面積915ヘクタールのうち、農業振興地域の青地区域を除いた712ヘクタールが下水道整備予定です。平成21年9月末現在、整備面積は381・1ヘクタールなので、整備率（供用開始済）は53%。人口による普及率は73・3%で、下水道供用開始区域で下水道に接続している割合、いわゆる水洗化率は92・1%です。下水道に接続されていない7・9%の家庭に罰則規定は適用されますが、貧困等による理由で早急に下水道に接続できない世帯は、接続延長申請を出してもらった場合に、接続要請をしています。

災害時の 防火用水の確保を

西条新区長 各地区で防火水槽の水の入れ替えはしているが、災害時に水は足りない。

消火栓が災害時に使えないと、自然水利しかない。各区の用水確保のためにも河川整備は必要だ。

河東中島区長 冬場になると水路の水がなくなる。行政で自然水利の確保をお願いしたい。

政権交代後の 見通しは

河東中島区長 国の政権交代に伴う見通しを示してほしい。

浅川議長 補正で確保した子育て支援もとりのやめになりました。まだ国の政権交代後の動向を見ないとなんともいえない。工業団地も景気後退により法人町民税が7億円近く減収になる。右肩上がりは見込めない世の中で、自分たちでできることは、自分たちでするようにしないと町もやっていけなくなっている。

国母駅跨線橋の 自転車通行は危険

西条二区長 国母駅の跨線橋の歩道の真ん中を自転車で降りるものがあり、男女に関係なく、年5〜6回自転車で転がっている。車道へ転ぶので



区長と議員の現地調査

大変危険です。
塩澤議員 西条二区の井戸端会議で要望があつたので、教育厚生常任委員会では区長と一緒に現地調査をしました。

橋の角度が急で危険な部分があるが、大きな跨線橋を止めるわけにもいかない。平成19年に国母駅に南北通路を設置してほしいと一般質問したが、甲府市と一緒にJRに要望していききたいとのことであった。甲府市の動きが鈍くそのままだが、最近やっと甲府市住民からも要望が出てきたので、また、強くJRにお願いしていくと聞いている。

押越区長 国母駅の跨線橋の歩道を、自転車に乗る人のほうが間違っている。

萩原副議長 子どもたちが跨

線橋の歩道を自転車に乗って降りるのは、大変危険。甲府市でも目を向けてきたので、地元で要望し、熱意を持ってJRと交渉をしたらどうか。
浅川議長 みんなで知恵を絞っていききたい。

押原公園を安全・ 安心な場所に

押越区長 太陽光発電による街路灯は、今朝もついていない。天気が悪ければ、電気はつきませんと指摘をしているにもかかわらず、相変わらず北側にも新設している。子ども通学路が暗くては困る。建設委員会では行政に要望し、それでも改善されない。早く中央道の側道だけでも設置し

てほしい。
浅川議長 太陽光でない街路灯もつきますよ。今は冬場で特に暗いから、太陽光発電は薄明かりで、確かに暗い。事故がおきてからでは遅いので、当局に伝えます。

自主防災は 各区の対応が重要

河住議員 各地域で、ここがあぶないと具体策を一つ一つやっていかないと、いざ、災害が起きたときに自主防災になりませんよ。行政はいざというときなかなか活動はできない。地域で金をかけずにできることを検討してみしてほしい。

押越区長 マニュアル・マップづくりをしるといわれているが、困ったものだと思う。個人情報保護の事もあつて、行政が細かいものを作成するようにしているが難しい。

上河東二区長 今日、第3回の自主防災についての研修をしてみたが、いきなり災害マップとか出されても。根本からしていかないと問題解決にならない。

住民と議員の対話集会

井戸端会議



町議会では議会改革の一環として、議員それぞれが町の課題を共有するために、議会定例会のない月には、互いに各委員会からの活動報告を行ない、井戸端会議等住民の皆様から出された要望を全議員で検討するために全員協議会を開催しています。

今回は、その他に新型インフルエンザ対策・中央道バス利用者の駐車場問題・新年度予算方針・町内への農産物直売所の設置問題について議論を交わしました。

会議後の対応

井戸端会議で出された意見・要望は、担当常任委員会で問題を調査研究し、結果報告書を作成し、区長に提出します。昭和町議会ではこういう活動を通じて「より住みよい町」をつくろうと願っています。住民の生の声は大きな財政支出が伴うものや、昭和町だけではどうしてもできないものもあり、すべての意見・要望を満たすわけにはいきませんが、議会は執行機関と一緒に課題解決に知恵をしばっていきます。

(紙面の都合上、一部意見要旨のみ掲載)

次の開催予定

1月17日(実施済)	築地新居区
1月28日	西条新田区
2月19日	上河東二区

開催日時は各地区で回覧されますので、ぜひご参加ください。

第7回井戸端会議（西条二区）



防災行政無線が
聞こえない区域の解消を

おもな

意見・要望

と

議会の対応

10月1日

西条二区

出席者 西条二区民36人

参加議員7人

教育厚生常任委員会 保坂明子委員長

Q 防災行政無線が聞こえない区域の解消を。

A 町では、防災行政無線のデジタル化に取り組んでいる最中です。難聴地域解消に向け3年計画で実施中です。

Q 年寄りになると人と接する機会が減ります。お茶会・いきいきサロンなど送迎をしてほしいという声が多い。なんとかならないか。

A 高齢者が参加できる仕組みを検討します。

Q 西条二区の公会堂が古くなり、広報配布の整理をするだけでも手狭です。町で建て替えてくれないか。

A 公会堂建設の補助は4分の3です。地区の皆さんの考えを一致させ、地元で盛り上げてほしい。

Q 個人情報の問題ですが、地域の高齢者の状況を教えてもらえない。真剣に取り組んでほしい。

A 民生委員も情報を出せないことで問題になっている。どこにどんな人がいるか、自主防災のこともあるので、合わせて話をしていく。

Q 西条二区はアパートの空室が年々増えている。空室が増えると、町の中の安全が脅か

され、地域の活気もなくなります。町営住宅は、民間を圧迫しないよう考えてほしい。

A 町では、町営の常永団地もきりをつけようとしています。

Q カインズホーム脇の信号から昭和バイパスを横断する西条小学校の通学路は交通量も多く危険だ。道路拡張、または一方通行や時間帯による進入禁止にないかないか。

A 小さな子どもたちが遠回りをするのは大変です。県道を整備し安全に通学できるよう町でも県に要望してほしい。常任委員会内でも検討します。



要望を受けた通学路の現地調査

第8回井戸端会議 (紙漣阿原区)



国保の固定資産割りは負担が大きい

10月28日
紙漣阿原区公会堂

出席者 紙漣阿原区民19人
参加議員6人
産業土木常任委員会 野中敏美委員長

おもな

意見・要望

と

議会の対応

Q 9月定例議会の補正予算で、法人町民税還付金が3千万だが、企業の法人町民税の落ち込みは、A 平成20年度決算で、法人町民税は9億2千万円ですが、平成21年度9月補正予算の段階で3億1千万円の見込み。6億1千万円ほどの減収となります。

Q 9月補正で決まった子育て支援特別手当交付金はどうなりますか？
A 政権が変わり中止になりました。新政権は、子ども手当を年額31万2千円、月あたり2万6千円とし、平成22年度は、半額の月1万3千円を中学卒業まで交付する方向で検討中です。

Q 国民健康保険の固定資産割が高い。年金生活者には負担が大きいです。一考を。
A 国民健康保険の固定資産割については、一考してみたい。昭和町では、資産割率については医療分23%、後期高齢者支援金分9%、介護分で5・7%。合わせて37・7%の資産割りをかけている。近隣では、中央市が39・8%の資産割りで、甲斐市・南アルプス市は、資産割りはなし。

Q 来年は昭和町ふるさとふれあい祭りを押原公園で行うと聞いている。押原公園は駐車場が狭いが増やす予定はないのか。
A 公園の駐車場問題は今後検討します。

Q 地図の上では、昭和町の位置はわかるが、昭和町に来ると町の中心が見えない。ようやく役場に行く道を拡幅したが、町の中心は。
A 山梨学院大学の学生たちとワークショップをしてきたが、駅前に駐輪場・歩道がないと似通ったような話が出た。駅前には、地図看板くらいあって、中心はどこかわかるようにしたい。

Q 国母駅・常永駅周辺の青色防犯灯の効果はどうか。
A 賛否両論あるが、上河東区では普通の防犯灯の球を換える時、白色蛍光灯から青色蛍光灯に換えている。犯罪件数が減るかはわからないが、地区の半分が青色防犯灯になりつつあります。

第9回井戸端会議（上河東区）

常永駅周辺は 通学児にとって危険 道路拡幅を

おもな
意見・要望
と
議会の対応

11月14日
上河東区公会堂

出席者 上河東区民35人
参加議員8人
総務常任委員会 福島正明委員長

Q 常永土地区画整理事業も第2期工事に入っているが、生活関連道路が使えるようにしてほしい。

A 「工程調整会議」を密に行い、できるだけ迷惑がかからぬよう努力します。安全対策・交通止め等の住民への周知も指導徹底します。

Q 歩道設置個所に街路灯が設置されると聞くと、建設後は、早い時期に街路灯を点けてほしい。

A すでに発注済みの道路工事には、歩道灯用の基礎工事も入っており、供用開始する前に工事できるよう段取りをしてあります。

Q 町税の減収が7億円以上になると聞きますが、常永土地区画整理事業の昭和玉穂線の取り付けなど、町で確実に完成させるように要望します。

A 「常永小学校東西線」の区画整理事業区域外は、町の事業として取り組んでいます。国からの予算配分もされ、事業に取り組んでおりまず、大丈夫でしょう。

Q 畑を借りたが、まわりの不耕作農地にゴミが捨てられ、嫌な思いをする。なんとかできないでしょうか。

A 町には「草刈条例・ゴミのないきれいな町

条例」もある。農業振興策と併せ、町で不耕作地を借り上げてという議論を議会でもしている。

Q 町の職員による地区担当制について、どのようなものかイメージだけでも教えてください。

A 区の行政改革というか、区の特徴ある町づくりを考えている。各地区に役場の係長クラスの職員2人をはりつけ、区の運営をサポートすることを考えているようです。

Q 山梨学院大学の学生と議員で、昭和町の現状のいい面・悪い面を検討していると思うが。

A 学生との検討会も含め、大学教授の知識を議員が学ぼうと、じかに話ができる関係になってきた。議員は資質向上に努めている。学生が住民アンケートを取るなどしているが、町民の議会に対する見方は、厳しいと思う。



学生と議会のワークショップ

聞きました!! 昭和町議会は?

大学生によるアンケート調査

評価は厳しい 65点

10月11日のふるさとふれあい祭りで、山梨学院大学生が議会に対する町民アンケートを実施しました。

町民100人の内訳は男女ほぼ同数、年齢は30歳から80歳まで、職業は会社員47%のほか幅広く分布しています。設問は議会への関心など12

項目と、議会への総合評価がら成っていますが、結論の総合評価は65点と、まあまあの合格圏内ながら、かなり厳しい採点になりました。

以下、順不同で主な項目についてのアンケート結果を分析してみました。



学生とのワークショップ（討論）

まだ低い認識と関心度

議会を身近に感じるか?

・あまり感じない 74%
・感じる 26%

議員の名前と顔を知っているか?

・知っている 52%
・あまり知らない 48%
・まったく知らない 48%

議会に興味や関心は?

・ない 71%
・ある 26%

この数字から分かることは、住民の議会に対する関心が非常に低いということであり、議会としてどうこれを改善するかが問われています。議会を傍聴したことがない町民が9割ということは議会が平日の昼しか開かれなないことにも原因があると思われます。

町議会議員選挙の投票には?

・必ず行く 77%
・あまり行っていない 14%
・全く行っていない 5%

議会のホームページを見たことは?

・見ていない 64%
・見ている 35%

議会だよりを見たことはありますか?

・ある 65%
・ない 35%

過半数の町民が議会だよりを見ていないと答えています。議会のホームページと議会だよりをさらに親しみやすい内容に充実させるとともに、議会を身近に感じてもらえるような努力が必要だと思えます。

町民100人に あなたにとって



学生によるアンケート調査

議会と住民が対話し、住民の参加意識を高めるためには、まだ住民への浸透度が低く、十分な効果を挙げているとはいえません。住民の議会に対する関心と興味を呼び起こすことが先決ではないのかと思われます。

議会への評価と期待は？

議員活動は活発になってきた
と思いますか？

- ・思う 27 %
- ・思わない 61 %
- ・必要 63 %
- ・必要ない 31 %

議会基本条例の制定は？

- ・必要 63 %
- ・必要ない 31 %

議員同士の討論や、執行側から議員に反問する権利は必要？

- ・必要 84 %
- ・必要ない 15 %

今後、特に議会に求められる役割は？

- ・地域住民の声を代弁 71 %
- ・執行機関の監視 11 %
- ・政策事業の立案 10 %
- ・住民参加はどのように推進すべきでしょうか？

- ・情報公開の充実 38 %
- ・議員との意見交換の場を充実すべき 37 %
- ・傍聴しやすい環境づくりを 22 %

あなたは昭和町議会に満足していますか？

- ・満足している 67 %
- ・満足していない 30 %

昭和町議会に対するあなたの総合評価は？

- ・最高点が90点、最低点は0点でした。平均点は65点であり、まずまずの合格点ともいえます。

アンケート調査を踏まえ

昭和町議会は、いっそう研鑽に努めます。皆様のご支援をお願いいたします。

〈大学生による総括〉

今回の住民アンケートを通して、議会の改革に対する熱意がまだ住民に十分に伝わっていない現実が明らかになりました。

昭和町議会は山梨学院大学とも連携して議員の資質向上や議会の運営改革に努めるなどの積極的な姿勢が評価されます。しかしそれに対する住民の関心はまだ低く、「お任せ民主主義」の名残があるのではないかとはいえます。

この結果を踏まえて議会は今まで以上に、住民の議会に対する理解と関心を深める工夫と努力をする必要があると思います。

また、調査を通じて住民の関心の低さがうかがわれ、住民自身の意識改革の必要があります。これが今後の大きな課題といえるでしょう。

青空と緑と産業のまち「昭和町」に住む
皆様にご意見・ご感想を伺いました。



福祉の町・水の町 昭和町に思う



上河東区

保坂

仁さん

私は後期高齢者の一員である。92歳の先輩を筆頭に、上河東生きがいクラブには62人の仲間がいる。私もとても老いぶつてはいるが、これら仲間との交流は四季を通じて地域のため、自己研鑽のため、と諸々の行事や作業に積極的に参加し、互いに協力しようと努めている。

私たち高齢者が元気に活動できるのも、福祉の町の後押しがあってこそと思う。また年1回の福祉バス旅行は、クラブの楽しい生きがいとなっている。中には自分の健康を来年につなげる証だというほど、人気があり期待されている。

私は昭和町に生まれ育ち、年を重ねてきた我が家は自家水道を利用して、夏は冷たく冬暖かい水に恵まれ、「昭和の水はうまいね」と、よその友人に言われる。しかし現在は、そのあたり前と、思っている水にも大きな危機を感じている。

昔は昭和も桑畑・麦畑、そしてひばりのさえずりがあつた。一面黄色の菜の花畑、れんげ畑、その美しさに身延線の乗客は魅せられた。田植え時は、人も馬も泥だらけで田作りに追われた。そんな水田地帯の昭和町、遠い昔が懐かしい。先祖伝来のこの豊かな水に感謝しながら、尊い水、うまい水と称えられる昭和町でありたいと願っている。

転勤族にも やさしい昭和町



西条二区

武友

佳子さん

私は、主人の転勤を機に、8年前に昭和町に住み始めました。山梨のことを全く知らない私たちは、どこを住まいにするかは難しい問題でした。そんなある日、いずれ子育てするならば「昭和町がオススメ！」と主人の社内（昭和町民）の方に教えてもらいました。

当初は、親戚も友達もいなかったもので、毎日寂しく過ごしていました。ある日広報で町に文化協会があることを知り、興味のある部へ所属させてもらいました。地域のことを何も知らない私に、皆さん親切に接して下さいました。その後、子どもを2人授かり、子連れ参加でも温かく迎え入れてもらい、毎週楽しく続けることができました。

また、家族の健康管理・産前・産後、育児相談・ファミリーサポート利用など、小さな町ならではの細かなサポートを受け、昭和町に住んで良かったなと思っています。

現在、子どもたちは保育園に入所し、私も仕事を始め、忙しいながらも充実した日々を過ごしています。

最近、仕事の関係で町内をたくさん歩く機会がありました。自然豊かなキレイな町、住みよい環境だと改めて実感した次第です。転勤族のため、いずれ昭和町を離れることと思いますが、このまま住みよい環境の昭和町であることを願っています。

全国で準優勝
山梨県で優勝
山梨県町村議会広報誌

優勝
山梨県で優勝
山梨県町村議会広報誌

第24回町村議会広報全国コンクールにおいて、全国の997町村のうち最優秀賞の鳥取県北栄町議会に続き、優秀賞を受賞しました。

昭和町議会が、山梨県町村議会で最優秀賞を受賞することも初、全国で賞に入るのも初めてのことで、ここでも昭和町の議会改革が評価されました。

広報は議員の通信簿。受賞を励みに、広報編集委員一同、さらに皆様に読んでいただける広報づくりに取り組みます。

(河田あけみ・記)

。広報編集委員会

委員長 河田あけみ
副委員長 河住 保茂
委員 萩原 馨
野中 敏美
塩澤 明子
浩



優勝したNo.141も
ホームページで公開しています